

他の市町村に比べ、あきる野市は1人当たりのごみの量が多い自治体です。処理費用は1か月当たり約8,900万円にものぼります。そこで、私たちの会議でごみ減量10か条を考えてみました。できることから始めてみませんか。



ごめんください 前田小学校 ～森校長先生と4年1組のみんな～

ごみ会議では、子どもの環境意識を知りたい、生の声を聞きたいと思っていました。そこで、ごみ会議のメンバーである1氏が評議員だった縁もあり、市内で初めて太陽光発電パネルを設置するなど環境意識が高い前田小学校にメンバー6名で訪問させていただきました。

Q: ごみの減量への取り組みは

A: 森校長先生
職員も児童も分別は徹底して行っています。当然、職員は買ったお弁当のごみなどを自宅まで持ち帰りますし、お祭りなどの行事で子どもたちが持ち帰ったダンボールやペットボトルなども、自宅に持ち帰って分別するなど減量に対する意識づけを行っています。
その他に、学校では牛乳パックやインクカートリッジなどを回収しています。また、野菜を育てることで食材の大切さを学んでもらう授業も行っています。

Q: 太陽光発電の現状は

A: 森校長先生
この太陽光発電パネルは1時間に約4キロワットの発電ができ、校内の蛍光灯などのエネルギーに使われています。(当日、玄関入り口に設置してある電光掲示板には、「4.23 kw/h」と表示) この掲示板も児童の環境への意識が高まるきっかけになればと思います。

1時間に約4キロワットの発電って、
蛍光灯だと何本分だろうね?



4年1組の子どもたちにも直接、話を聞くことができました。

Q: ごみを減らすため、これからどうしますか

A: 4年1組の子どもたち
「無駄な買い物をしてない」「無駄遣いをしない」「なるべく使えそうなものを再利用する」「使える物は最後まで使いきる」「ものを大切にします」「ごみにならない物を買う」「ポイ捨てはしません」・・・

前田小学校が行っているごみの減量への取り組みの成果がうかがえる嬉しい回答が児童からもらえました。(M・T)



ごみ減量10か条



- 1、水分の多い生ごみは水を切りましょう。
- 2、名刺サイズ以上の紙やお菓子の箱、トイレトーパーの芯なども資源の紙類として出しましょう。
- 3、マイバックやマイボトルを持ち歩きましょう。
- 4、使い捨て製品は買わないように、貰わないようにし、詰替え容器の商品を選びましょう。
- 5、プラスチックやペットボトル、白色トレイ類は買ったスーパーの回収ボックスに出しましょう。
- 6、EM菌やダンポストを活用し、生ごみは可能な限り堆肥化しましょう。
- 7、お菓子や海苔の袋に入っている生石灰乾燥剤は土にまいてみましょう。酸性の土壌を中和させる効果があります。
◎水に触れると発熱する可能性がありますので、保存の際はご注意ください。
- 8、卵の殻や貝殻などは砕いて土に返しましょう。土の中のミネラル分になります。
- 9、落ち葉や草は庭木の根元に置きましょう。豊かな土になります。
また、落ち葉の堆肥化枠を設置している場所の近くにお住まいの方は、その中に入れましょう。
◎前田公園・草花公園・雨間グリーンタウン公園・高尾公園
◎各公園で出来あがった堆肥はご自由にお使いください。
- 10、使わなくなったものはフリーマーケットなどに出しましょう。
可燃ごみの約5%は焼却処理後も化学物質を含む灰として残り、市内に埋め立てられます。空気や土、水を汚すことは、私たちの命を縮めることとなります。ごみが減るように循環を考えた生活を送りましょう。(T・A)



生ごみで作った堆肥から咲いたアキラ

編集後記

前田小の4年1組のみんな！少しの時間でしたが、熱心に考えてくれました。また、アンケートも丁寧に書いてくれましたね。ありがとう！！授業の時間をさいていただいた寺内先生にも感謝しております。

ごみ会議では、今年から会議後に市役所付近の道でごみ拾いをしています。一番目に付くものは、プラスチック容器やビニール袋です。人間はごみの製造機だと言う人もいます。人間が出したものは、回りまわって私たちに帰ってきます。北京のPM2.5などが有名ですね。前田小の子どもたちは、「ものを大切に」「ごみにならないものを買う」という3Rのうちで最も大事なことを理解してくれているようで嬉しかったです。この子たちが大人になった時代は、きっと今より美しい地球になっていることを期待して・・・(M・T)

へらすぞう

第20号 平成27年度



あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力し、3Rを推進している団体です。

すべては循環しているよ!



EM菌を活かして、僕たちに出来ることもあるよ。次のページを見てね。



3R=リデュース(発生抑制) リユース(再使用) リサイクル(再資源化)



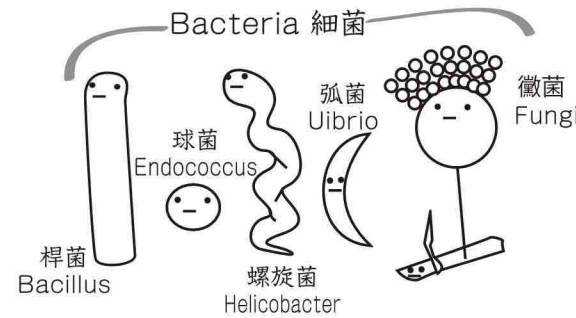
げん人くん
再生紙を使用しています。

微生物の時代 (EM菌特集)

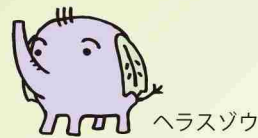
EM (Effective Microorganisms=有用な微生物群) 菌とは?

自然界に生息する有用な微生物を集め、培養したものです。現在では、140か国以上で、健康や農業、畜産、水産、水質浄化などに活用されています。

なお、EMに含まれる微生物のほとんどは酒やみそ、チーズなどの発酵食品に使われている微生物と同じ仲間です。



生ごみの処理



EM菌の働きで生ごみを発酵させ、良質な肥料が作れます。畑や庭などで安全で美味しい野菜を作ってみましょう。



使い方

(1) 水切りした生ごみを申請することで市から貸与されるごみ処理容器に入れます。

対象・・・市内在住の方
内容・・・1世帯2基まで。2年間の貸与期間終了後は譲渡。
申請・・・印鑑を生活環境課まで持参し、申請
◎EMボカシは自己負担

(2) EMボカシ^{※1}を購入し振りかけます。(10~20g/生ごみ1kg)

(3) フタをしっかり閉めます。

(4) 発酵液が底に溜まったら、蛇口を開けて取り出します。

◎発酵液の活用

排水管の浄化、悪臭対策：トイレや台所、風呂場の排水口に直接流します。

植物の活性化：500~1000倍に希釈して散布します。濃すぎると栄養過多で枯れてしまう恐れがあります。

(5) (1)~(4)を繰り返し、生ごみが容器の8分目ほどになったら、密封して1~2週間ほど発酵させましょう。

◎発酵した生ごみの活用

プランターでの植物栽培：プランターの下に培養土を入れ、その上に発酵した生ごみを入れます。最後に、培養土を入れ、1~2週間後に苗を植えて完成です。

家庭菜園：畑に溝を掘り、発酵した生ごみを入れ、土を被せます。最後に、1~2週間後に苗を植えて完成です。



その他の活用事例



1 掃除

EM活性液^{※2}を100倍に希釈したもの(EM希釈液^{※3})を家の台所や風呂場、トイレ、窓ガラスなどにふきかけて、ふき取ります。この作業を定期的に続けると、汚れが付きにくくなります。

◎東北新幹線の車両清掃など



2 浄化

注：EMだんごの投入については必ず河川管理者の許可を得る必要があります。

EMの原液や活性液、EMだんご^{※4}を河川などに投入することで、水質の向上が図れます。

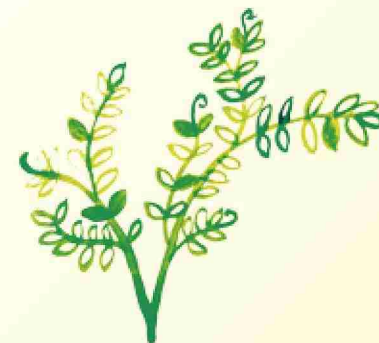
◎全国一斉 EM 団子投入イベント・日本橋川 EM 浄化プロジェクト・伊勢湾・熊野灘・三河湾浄化大作戦・奈良東大寺の池など



3 農業・園芸

EMの活性液を定期的に散布すると、未熟な堆肥が発酵堆肥に変わり、害虫を抑制できます。さらに、土壌の改良にもなります。

◎羊山公園の芝桜など



4 災害

被災地各地での衛生・悪臭対策、水質・土壌改善策にEM菌が活用されています。

◎宮城、岩手の三陸など

※1 EMボカシ：市販されているものあり。

※2 EM活性液：市販されているものあり。[原液60cc]と[糖蜜または市販されている善玉菌のエサ(60cc)]、[水1~2ℓ]をペットボトル内で混ぜ、1~2週間発酵させたもの。

※3 EM希釈液：活性液を水で希釈したもの。◎3日以内には使い切る必要あり。

※4 EMだんご：EM活性液やEMボカシを土と一緒に練りこみ、団子状にして、発酵乾燥したもの。